

# 年 度 評 価 シ ー ト

課名 スポーツ振興課

施設の名称 静岡市清水ナショナルトレーニングセンター 清水日本平運動公園球技場庭球場 静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド 静岡市清水庵原球場	指定管理者名 静岡スポーツスクエア共同事業体 代表者 (公財) 静岡市まちづくり公社
---	--

**1 履行状況**

業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

**(1) 維持管理業務**

各施設とも、各種設備の保守点検等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。

また、第三者委託において、他施設との一括発注が可能なものについては契約を一本化し、コストの削減に努めている。

修繕については、グループで安全委員会を設置し、各施設及び器具等の点検を行い利用者の安全確保と、経年劣化による不具合発生等の未然防止対応に努め、計画的かつ効果的に実施しており、修繕費を有効に活用している。

各施設の主な修繕内容は以下のとおりである。

**【静岡市清水ナショナルトレーニングセンター】**

プールろ過中空糸洗浄部品交換修繕、トレーニングマシナー式修繕

**【清水日本平運動公園球技場・庭球場】**

汚水用排水ポンプ更新修繕、受水槽プレッシャータンク水漏れ修繕

**【静岡市蛇塚スポーツグラウンド】**

散水用水道管漏水修繕、雨漏り修繕

**【静岡市清水庵原球場】**

合併浄化槽ブロワ取替修繕、消防設備不良箇所修繕

**(2) 施設利用者数**

令和3年度の施設利用者数等は以下のとおり

単位：人

施設名	令和3年度			令和2年度	
	目標値 (事業計画)	実績値	達成率	実績値	増減率
清水ナショナルトレーニングセンター	223,800	154,333	68.9%	124,069	124.3%
清水日本平運動公園 球技場及び庭球場	346,200	238,852	68.9%	129,510	184.4%
蛇塚スポーツグラウンド	30,000	21,426	71.4%	17,802	120.3%
清水庵原球場	97,700	88,801	90.9%	37,039	239.7%
計	697,700	503,412	72.2%	308,420	163.2%

(参考) 令和元年度 実績値 (合計) : 673,351人 増減率 : 74.8%

新型コロナウイルス感染症の影響による、一般利用はもとより、Jリーグをはじめとする各種大会等の利用者数縮減、国内外のプロ・アマチュアチーム等の合宿及び各施設における教室事業の中止等を主な要因として、目標値へ届かなかったが、清水ナショナルトレーニングセンターでは、ハード面における徹底した感染防止対策を実施しつつ、ソフト面においても、事業の開催場所の見直し（室内→屋外）や時間及び人数の再検討を行うなどし、コロナ禍でも安心して参加できるプログラム設定に見直すなど安心・安全な施設運営で快適な環境づくりを構築しつつ、利用者ニーズに応えながらも、各施設の利用促進とスポーツ推進計画に沿うことを目的とした事業展開が創意工夫をもって適切に行われていることがわかる。各施設において同様の動きが見られ、業務は適正に実施できている。

### (3) 事業実施状況

令和3年度の事業実施状況は以下のとおり

#### ■指定事業及び自主事業参加者数

施設名	目標値 (仕様書)	実績値	達成率
静岡市清水ナショナルトレーニングセンター	20,400人以上	21,697人	106.4%
清水日本平運動公園 球技場及び庭球場	700人以上	819人	117.0%
静岡市蛇塚スポーツグラウンド	1,200人以上	540人	45.0%
静岡市清水庵原球場	600人以上	771人	128.5%
計	22,900人以上	23,827人	104.0%

#### ■指定事業実施回数

施設名	目標値 (仕様書)	実績値	達成率
静岡市清水ナショナルトレーニングセンター	5事業以上	27事業	540%
	全1,500回以上	1,552回	103%
清水日本平運動公園 庭球場	(キッズテニス教室)	1事業	100%
	1事業以上全3回以上	全3回	100%
	(硬式テニス教室)	3事業	100%
	3事業以上全64回以上	全82回	128%
静岡市清水庵原球場	2事業以上全15回以上	1事業	50%
		全1回	6.7%

各施設とも、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に届かなかった事業もみられるが、いずれの施設においても次のような工夫等が見受けられた。

清水ナショナルトレーニングセンターでは、「新しい生活様式」に沿った形で安心して参加できる事業として「室内から屋外に」をテーマに、屋外芝生グラウンドを活用している。また、コロナ禍の自粛によるストレス発散を目的としたメニューを検討するなど、工夫した事業運営を行うことで利用者の好評を得ている。

清水日本平運動公園庭球場では、子供から大人まで幅広い年齢層に対応した参加型教室やイベントの開催に努められている。指定事業である「キッズテニス教室」や自主事業の「らくらく健康づくり運動」においては、募集定員を超える応募者に対し、万全の防疫対策を講じつつ、多くの応募者の期待に応えようと、クラス数や実施方法に工夫を凝らすことで、臨機応変により良い事業運営を実施している。多くの事業で満足度100%という結果を得られており、大変高い評価に値する。その他、「エスパルス」のネームバリューを活かした周知方法や運営方法から大きな集客効果も得られており、継続性、事業・効果拡大を期待する。

蛇塚スポーツグラウンドでは、働き盛り世代に向けた新たな夜間教室（ズンバ・ヨガ）の開催、子育て世代や子どもに向けた、スポーツの苦手意識や何から始めていいかわからない親子の戸惑いを解消するため、楽しく体を動かす運動遊びや子どもの体力向上に特化したスポーツ教室など、多方面のニーズに対応した多種多様な事業提案がされており、かつ、教室体験会を頻繁に行うことで、教室参加者の新規獲得に繋がっている。

清水庵原球場においても、野球という競技を軸に清水野球連盟や静岡県高野連、静岡県学生野球リーグ、元プロ野球選手等と連携しながら、様々な事業を実施することで「スポーツ推進計画」の施策の柱の「子どもの体力を向上させる機会の創出」等に寄与している。

その他、各施設の主な事業の状況は、以下のとおりである。

●教室・イベント等利用者満足度（一部抜粋）

施設名		事業名	募集人数	参加実績	目標満足度	満足度
清水ナショナルトレーニングセンター	自主	親子 de うんどう in Autumn	30人	30人	95%	100%
	自主	キッズステップアップバスケット教室	90人	106人	95%	100%
清水日本平運動公園 球技場	自主	のびのびわくわく親子うんどう	60人	122人	95%	100%
清水日本平運動公園 庭球場	自主	早朝テニス教室	1,600人	1,701人	95%	100%
清水蛇塚スポーツグラウンド	自主	蛇塚キッズクラブ	30人	42人	95%	100%
清水庵原球場	指定	清水少年野球教室	120人	140人	95%	98%

## 2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

各施設において、利用者からの意見・要望に対して、対応が困難な場合でも、丁寧に回答できており、良好な対応をしている。

今後も利用者からの多種多様な意見・要望に対して、親切・丁寧に対応を期待する。

### 【具体的な意見・要望と対応状況】

#### 静岡県清水ナショナルトレーニングセンター

##### 要望

緊急事態宣言が明けたので、ジム更衣室に髪の毛等を捨てるためのゴミ箱を置いてほしい。

##### 対応

更衣室へのゴミ箱は引き続き設置しない。施設として、全ての利用者に対する安心安全な施設運営を図るため、引き続き慎重な新型コロナウイルス感染症対策を講じていくことを伝え、理解を得た。

## 3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

### （1）利用者満足度調査（教室・イベント・入場・来館）

施設名	調査回数	調査人数	目標満足度	利用者満足度
清水ナショナルトレーニングセンター	13回	1,246人	95%	98%
清水日本平運動公園園球技場及び庭球場	9回	688人	95%	98.9%
清水蛇塚スポーツグラウンド	11回	345人	95%	100%
清水庵原球場	7回	533人	95%	98.7%

各施設において、施設利用者に対し満足度調査を実施した。いずれの施設においても目標値90%を超える結果となり、多くの利用者にとって適切な施設運営がされていることがわかる。スタッフ対応についての項目についても、いずれの施設も大変良好な結果となっており、スタッフ一人ひとりが全ての利用者に対し明るく、快活な接客対応に心がけ、親しみやすい施設づくりに貢献していることが伺える。

### （2）市民アンケート

静岡駅北パーキングで施設の認知度等の調査を行った。当グループの平均認知度は24.8%であった。今回の調査では、市外に居住地を有する者の回答が半数以上を占めていることから、市外での認知度は低いものと考えられる。今後は静岡市内に限らず、広い範囲での広報活動にも期待したい。なお、集計数が利用者人数に対して少ない数となっているため、幅広い意見聴取をするよう収集方法の検討を図りたい。

## 4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況は、概ね予算のとおり執行されており良好である。

## 5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

施設の管理運営全般については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年であり、事業計画に対して教室の中止等が目立った。減少傾向にある利用者数を着実に増加させていくために、清水ナショナルトレーニングセンターでは、定常業務に加えジムや

プールの教室事業において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、フィットネスルーム等では十分な換気時間の確保、定員の少人数化、レッスン時間の短時間化など、参加者の安全確保に努めている。対応方針について、3か月に一度見直しを図り、情勢とニーズに合わせた運営がなされている。そのような安心・安全な施設運営を心がけていく丁寧な姿勢が顕著に見られたことから、市民に対するイメージの適切な保持が良好に実施されていることを伺える。結果として、利用者数に関して、コロナ流行前の令和元年度の各数値に近づけている。各施設における実績を分析することで、コロナ禍以前の数値を目指そうとする前向きな姿勢も大変高い評価に値するといえる。

また、力を入れているプロチーム等のキャンプへの対応については、これまでのサッカーやバスケットボールのプロチームキャンプに加え、「2020 東京オリンピック・パラリンピック」事前合宿としてフランステコンドーチームの受け入れを実施。文化も異なるなか、職員の経験・知識を活かし、多くの関係各機関と調整を図りながら、レストランを含め施設一丸となって協議を重ねた。関係省庁や関係団体が策定したガイドラインに準じた対策を徹底的に講じるため、多くの工夫を施し、チームに対しては快適な練習環境の提供をし、かつ、コロナ禍である中にもかかわらず、一般利用客を含めて感染者を出すことも無く無事に終えたことは、施設・静岡市にとって大きな成果と信頼構築となり、施設としてはその実績・経験を提案することで、また新たなキャンプチームの利用開拓に繋げており、以後のキャンプチームをはじめ、施設利用者からは一人の感染者を出すことなく安心・安全な利用環境を提供できている。

危機管理対策の一環として、AEDの管理や個人情報の取扱いの徹底を行っている。現場の対応策が速やかに講じられるよう、消防OB等による定期的な研修と日々の確認・管理が行われることで、知識の習得や危機管理意識の向上に繋がっている。

経費節減に関しても、各事案に対し専門知識を有する職員での対応や、ペーパーレス化の推進、省エネルギー対策の実施など、施設の効率的運営を行うことで、ライフサイクルコストの節減に努められている。

また、施設ポテンシャルの向上のため、トレーニング環境の整備の一環として、医療機関と連携し、医療的視点によるトップアスリート支援体制の構築や、トレーニングルームとアリーナに新たにWi-Fi環境を整備し、利用者自身の携帯電話とトレーニングマシンの連携データ管理を可能にすることで、運動データの「見える化」としてトレーニング効率向上に繋げるなど、運営様式の工夫に力を入れている。

地域連携については、庵原地区に対し、清水ナショナルトレーニングセンター、庵原球場では自治会会議への出席をはじめ、地域イベントへの協力と参加、庵原自治会誌「ふれあいいはら」への情報発信などによる施設利用促進を図っている。蛇塚地区に対し、蛇塚スポーツグラウンドでは自治会と共に環境整備活動を実施するなど、良好な関係性を構築している。同施設では静岡市スポーツ推進計画の基本施策にも掲げられている「総合型地域スポーツクラブ」の育成・発展に繋がるよう施設利用の支援に取り組むことで連携・協働を実施している。

また、各施設において、近隣小学校の学外授業の一環や、近隣幼稚園の遠足として施設見学の受け入れ実施、小学校プールに赴き着衣水泳教室を実施するなど、地域の活性

化と振興に寄与することで、地域に根ざした親しみある施設づくりがなされている。地域コミュニティ形成に大きく携わっており、スポーツの活動を通じて市民の健康及び地域のコミュニケーションの発展に貢献していると伺える。

スポーツ以外の事業として、清水日本平運動公園球技場では施設見学会を行い、市内外多くの来場者を案内した。コロナ禍によって従来の修学旅行先から静岡に行先を変更した学校などからの来訪実績が多くあった。同施設では学生の職場体験、インターンシップ等の受け入れを積極的に行い、教育現場との連携を行っている。今後も、教育現場との連携という視点をはじめとした、他ジャンル・機関との連携による裾野拡大を期待する。

そのほか、清水ナショナルトレーニングセンターでは、プロチームのキャンプ時にも官公庁や市内関係団体からの協力を得て、地場産品を提供するなど、スポーツのみならず、静岡市の特産品を活かした事業とも連携することで、シティセールスにも努めることができていることは大変評価できる。このようなスポーツ以外の事業活動が施設の認知度の向上、その先の利用者数拡大の一助となることが望ましい。

また、消防署・警察、自衛隊による訓練実施の際には、積極的に協力することでも地域に貢献している。他分野・ジャンルとの「連携」にできる範囲で大きく力を入れることで、機会の提供と施設のPRの双方を創出できていることは、評価できる。

今後も引き続き、トレセングループとして目標を共有しながら、各々の自主性・自立性の確保に努めつつ、効率・効果的に目標達成ができるよう、各主体が能力、資源、ノウハウ及び規模を互いに補完し合うことで、相乗効果を生み、より一層グループ間での協働・協力が強化されることで、より良い結果に繋がることを期待する。

総じて独自の多種多様な事業や利用促進を目的とした魅力ある事業展開が実施されており、さらに、運營業務から維持管理における多分野において4施設の効率的な連携により指定管理者制度のメリットを十分に反映できていることから、高く評価できる。

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。